



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東
 コード番号 6071 URL <https://www.ibjapan.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 健次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部統括 (氏名) 石田 明 (TEL) 080 (7027) 0983
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年12月期第1四半期 | 7,421 | 54.1 | 1,580 | 56.9 | 1,552 | 55.3 | 1,029 | 67.5 |
| 2025年12月期第1四半期 | 4,815 | 13.2 | 1,006 | 51.7 | 999 | 51.0 | 614 | 27.7 |

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,131百万円(66.9%) 2025年12月期第1四半期 678百万円(36.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年12月期第1四半期 | 27.18 | — |
| 2025年12月期第1四半期 | 16.26 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年12月期第1四半期 | 31,522 | 12,698 | 34.3 | 285.69 |
| 2025年12月期 | 32,524 | 11,923 | 31.3 | 268.79 |

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 10,818百万円 2025年12月期 10,179百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2026年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2026年12月期(予想) | — | 0.00 | — | 13.00 | 13.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 13,941 | 43.2 | 1,889 | 5.3 | 1,820 | 2.2 | 1,051 | △4.1 | 27.76 |
| 通期 | 28,803 | 42.8 | 4,048 | 12.2 | 3,922 | 13.0 | 2,335 | 12.4 | 61.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2026年12月期1Q | 42,000,000株 | 2025年12月期 | 42,000,000株 |
| 2026年12月期1Q | 4,131,706株 | 2025年12月期 | 4,128,406株 |
| 2026年12月期1Q | 37,869,190株 | 2025年12月期1Q | 37,787,524株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法)

当社は2026年5月18日(月)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。なお、決算補足説明資料については、本日当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |
| (収益認識関係) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高の影響が継続する中で、企業収益や賃上げの動きが個人消費を下支えし、内需を中心とした景気を持ち直しが続いております。一方で、少子高齢化の進行による構造的な労働力不足や婚姻件数の減少傾向は依然として深刻な社会課題となっております。

婚活市場においては、マッチングアプリの普及が進む一方で、安全性の懸念から結婚相談所による信頼性の高い出会いと、カウンセラーによるきめ細やかなサポートへの需要が再評価されています。

このような環境下、当社グループは中期経営計画の達成に向け、ブランド認知の向上と社会課題解決型サービスの提供に注力しております。

当第1四半期連結累計期間についての売上高は7,421,980千円(前年同期比54.1%増)、営業利益は1,580,060千円(同56.9%増)、経常利益は1,552,227千円(同55.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,029,288千円(同67.5%増)となりました。

各セグメントの売上高及び事業利益は以下のとおりであります。

当社グループの報告セグメントは、当第1四半期連結会計期間より、株式会社デコレテ・ホールディングスの連結子会社化に伴い、これまで「ライフデザイン事業」に含めていたフォト事業の重要性が増したことから、セグメント区分を見直しております。これにより、従来の「ライフデザイン事業」からウェディング事業及びフォト事業を分離し、新たに「ウェディング&フォト事業」を報告セグメントとして追加しております。

本セグメントの新設により、結婚相談所からフォト・ウェディングサービスへの送客フローの体系化と組織的な強化を図っております。これにより、成婚という「点」の支援にとどまらず、結婚をはじめとする人生の節目の撮影需要などを継続的に取り込む「ライフデザインカンパニー」としての成長戦略を加速させ、グループシナジーの最大化を推進してまいります。以下の前年同期比較については、前年四半期の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で比較しております。詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

なお、事業利益は、営業利益+減価償却費+のれん償却費+長期前払費用償却費としております(内部取引調整済み)。

(加盟店事業)

加盟店事業では、当第1四半期連結会計期間において、AIを活用した事業推進を行っており、新規加盟店獲得における営業面談のAIロープレによって営業担当者の実力が着実に向上したこともあり、新規開業件数は217件(前年同期比5.3%増)となりました。また、プラットフォーム内の会員活動が活性化したことで、直営店を除くお見合い数は187,613件(同18.8%増)と大幅に伸長しました。今後は、結婚相談所の会員様に向けた「お見合いりハール機能」の導入により、お見合いからの成婚率の向上にも寄与する見通しです。

これらの理由により、当第1四半期連結累計期間において、セグメント売上高は1,002,206千円(前年同期比9.8%増)、事業利益は713,624千円(同18.7%増)となりました。

(直営店事業)

直営店事業では、当第1四半期連結会計期間において、新規入会者数が6,709名(前年同期比18.9%増)と大幅に増加いたしました。IBJメンバーズでは、IBJ Matching(婚活パーティー)との連携強化を推進し、効率的な入会促進を継続しております。また、ZWEIでは、マーケティング施策が奏功し、入会数の大幅な伸長に寄与いたしました。

これらの理由により、当第1四半期連結累計期間において、セグメント売上高は2,499,655千円(前年同期比8.4%増)、事業利益は685,400千円(同17.8%増)となりました。

(マッチング事業)

マッチング事業では、当第1四半期連結会計期間において、各種KPIは好調に推移しております。IBJ onlineにおいては会員数が順調に増加し、婚活ライト層の取り込みを加速しております。ブライダルネットにおいてもマーケティング施策の改善が奏功し、無料会員から有料会員への転換数、転換率ともに好調を維持しております。

これらの理由により、当第1四半期連結累計期間において、セグメント売上高は405,874千円(前年同期比9.3%増)、事業利益は90,169千円(同0.7%減)となりました。

(ライフデザイン事業)

ライフデザイン事業では、当第1四半期連結会計期間において、営業担当者の増員と保険代理店事業において大手資産運用会社との提携による新たなIFA（独立系ファイナンシャルアドバイザー）としての取り組みを開始し、資産運用提案を強化したこともあり、顧客単価の向上および保険成約件数528件（前年同期比21.4%増）と好調に増加しました。地域創生の領域では、山梨県や秋田県との連携協定を推進し、地方における婚活支援を拡大しております。美容事業のGROWBINGでは、全国のIBJプラットフォームからの送客を強化し、更なる事業成長を目指しております。

これらの理由により、当第1四半期連結累計期間において、セグメント売上高は376,935千円（前年同期比44.5%増）、事業利益は137,089千円（同8.5%増）となりました。

(K Village事業)

K Village事業では、第1四半期連結会計期間において、韓国語教室（K Village韓国語）およびボイストレーニングスクール（ナユタス）のFC展開が成長を牽引しました。ナユタスのFC校舎数は106校（前年同期比47.2%増）、韓国語教室のFC校舎数も4校まで増加しております。

これらの理由により、当第1四半期連結累計期間において、セグメント売上高は958,803千円（前年同期比20.9%増）、事業利益は143,172千円（同12.9%増）となりました。

(ウェディング&フォト事業（新設セグメント）)

当第1四半期より独立した本セグメントでは、当第1四半期連結会計期間において、成婚者に対するフォト・ウェディングの送客を強化しました。結果、セルフフィットのお見合い写真撮影総件数は3,301件（前年同期比40.5%増）、ウェディングの成約件数は438件（同25.9%増）と大幅に伸長しました。また、デコルテ・ホールディングスでは新たなM&Aを実施し、ライフステージに応じた撮影需要の取り込みを推進しております。

これらの理由により、当第1四半期連結累計期間において、セグメント売上高は2,178,505千円（前年同期比1,161.7%増）、事業利益は736,786千円（同1,363.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は12,212,242千円となり、前連結会計年度末に比べ570,089千円減少しました。これは主に、現金及び預金が385,894千円、売掛金が153,634千円、預け金が85,684千円減少した一方、前払費用が55,370千円増加したためです。

固定資産は19,310,752千円となり、前連結会計年度末に比べ431,597千円減少しました。これは主に、使用権資産が165,768千円、のれんが171,736千円、繰延税金資産が139,033千円減少した一方、建物が62,261千円増加したためです。

この結果、総資産は31,522,994千円となり、前連結会計年度末に比べ1,001,687千円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,204,948千円となり、前連結会計年度末に比べ1,391,231千円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が516,864千円、未払費用が434,778千円、未払金が232,379千円、預り金が219,478千円減少したためです。

固定負債は8,619,685千円となり、前連結会計年度末に比べ385,486千円減少しました。これは主に長期借入金が増加したためです。

この結果、負債合計は18,824,634千円となり、前連結会計年度末に比べ1,776,718千円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は12,698,359千円となり、前連結会計年度末に比べ775,030千円増加しました。これは主に、利益剰余金が650,498千円、非支配株主持分が132,648千円増加したためです。

この結果、自己資本比率は34.3%（前連結会計年度末は31.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、2026年2月13日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,935,131 | 4,549,237 |
| 売掛金 | 2,761,120 | 2,607,485 |
| 営業投資有価証券 | 4,281,168 | 4,321,003 |
| 商品及び製品 | 16,182 | 20,204 |
| 仕掛品 | 93,779 | 64,284 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,907 | 6,960 |
| 前渡金 | 7,313 | 1,246 |
| 前払費用 | 517,638 | 573,008 |
| 1年内回収予定の長期貸付金 | 4,333 | 3,833 |
| 預け金 | 148,236 | 62,551 |
| その他 | 39,227 | 31,894 |
| 貸倒引当金 | △28,704 | △29,468 |
| 流動資産合計 | 12,782,332 | 12,212,242 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 4,005,962 | 4,127,289 |
| 減価償却累計額 | △1,819,249 | △1,878,314 |
| 建物(純額) | 2,186,713 | 2,248,975 |
| 車両運搬具 | 52,281 | 49,865 |
| 減価償却累計額 | △28,694 | △29,076 |
| 車両運搬具(純額) | 23,587 | 20,789 |
| 工具、器具及び備品 | 1,172,346 | 1,186,087 |
| 減価償却累計額 | △824,173 | △847,282 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 348,173 | 338,805 |
| 土地 | 1,703,883 | 1,711,597 |
| リース資産 | 43,967 | 43,967 |
| 減価償却累計額 | △36,962 | △38,644 |
| リース資産(純額) | 7,005 | 5,323 |
| 使用権資産 | 5,523,500 | 5,501,404 |
| 減価償却累計額 | △1,580,476 | △1,724,148 |
| 使用権資産(純額) | 3,943,023 | 3,777,255 |
| 有形固定資産合計 | 8,212,386 | 8,102,745 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 4,895,462 | 4,723,726 |
| ソフトウェア | 563,979 | 579,860 |
| ソフトウェア仮勘定 | 6,235 | 6,827 |
| その他 | 47 | 35 |
| 無形固定資産合計 | 5,465,724 | 5,310,450 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,064,166 | 2,028,208 |
| 長期前払費用 | 140,237 | 117,118 |
| 長期貸付金 | 41,500 | 41,500 |
| 繰延税金資産 | 944,613 | 805,579 |
| 保険積立金 | 292,602 | 292,602 |
| 差入保証金 | 2,574,368 | 2,605,797 |
| その他 | 6,750 | 6,750 |
| 投資その他の資産合計 | 6,064,239 | 5,897,556 |
| 固定資産合計 | 19,742,349 | 19,310,752 |
| 資産合計 | 32,524,682 | 31,522,994 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 528,059 | 501,213 |
| 短期借入金 | 2,460,000 | 2,760,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,817,116 | 1,300,252 |
| 未払金 | 1,099,000 | 866,621 |
| 未払費用 | 1,083,969 | 649,190 |
| 未払法人税等 | 982,554 | 489,413 |
| 未払消費税等 | 373,802 | 414,223 |
| 前受金 | 1,018,284 | 1,036,034 |
| 預り金 | 1,449,338 | 1,229,860 |
| リース債務 | 617,137 | 601,035 |
| 資産除去債務 | 36,973 | 34,077 |
| 有給休暇引当金 | 68,305 | 69,638 |
| 賞与引当金 | - | 157,976 |
| その他 | 61,637 | 95,410 |
| 流動負債合計 | 11,596,180 | 10,204,948 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,727,622 | 4,484,453 |
| リース債務 | 3,102,600 | 2,956,243 |
| 資産除去債務 | 1,167,213 | 1,168,086 |
| その他 | 7,736 | 10,902 |
| 固定負債合計 | 9,005,172 | 8,619,685 |
| 負債合計 | 20,601,352 | 18,824,634 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 699,585 | 699,585 |
| 資本剰余金 | 937,276 | 938,524 |
| 利益剰余金 | 11,047,313 | 11,697,812 |
| 自己株式 | △2,384,213 | △2,384,213 |
| 株主資本合計 | 10,299,961 | 10,951,708 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △120,380 | △133,007 |
| その他の包括利益累計額合計 | △120,380 | △133,007 |
| 新株予約権 | 51,304 | 54,566 |
| 非支配株主持分 | 1,692,443 | 1,825,092 |
| 純資産合計 | 11,923,329 | 12,698,359 |
| 負債純資産合計 | 32,524,682 | 31,522,994 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,815,524 | 7,421,980 |
| 売上原価 | 432,296 | 1,314,603 |
| 売上総利益 | 4,383,228 | 6,107,376 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,376,369 | 4,527,316 |
| 営業利益 | 1,006,858 | 1,580,060 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,646 | 10,774 |
| 補助金収入 | 1,155 | 5,200 |
| 雑収入 | 835 | 1,484 |
| その他 | - | 2,220 |
| 営業外収益合計 | 3,637 | 19,680 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,715 | 42,492 |
| 投資事業組合運用損 | 439 | - |
| 為替差損 | 2,607 | 1,681 |
| 雑損失 | 0 | 6 |
| その他 | - | 3,333 |
| 営業外費用合計 | 10,762 | 47,513 |
| 経常利益 | 999,734 | 1,552,227 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 221,999 |
| その他 | - | 10 |
| 特別利益合計 | - | 222,010 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 12,222 | 1,013 |
| 店舗閉鎖損失 | - | 3,440 |
| 特別損失合計 | 12,222 | 4,453 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 987,511 | 1,769,784 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 215,869 | 465,484 |
| 法人税等調整額 | 119,403 | 142,362 |
| 法人税等合計 | 335,272 | 607,846 |
| 四半期純利益 | 652,238 | 1,161,937 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 37,654 | 132,648 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 614,584 | 1,029,288 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 652,238 | 1,161,937 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 25,793 | △30,105 |
| その他の包括利益合計 | 25,793 | △30,105 |
| 四半期包括利益 | 678,031 | 1,131,832 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 640,377 | 999,183 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 37,654 | 132,648 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日) |
|--------|---|---|
| 減価償却費 | 143,830千円 | 333,127千円 |
| のれん償却額 | 38,177 | 171,736 |

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|----------------------------|---------|-----------|-------------|---------------|-----------------|------------------|-----------|----------|-----------------------|
| | 加盟店事業 | 直営店事業 | マッチング 事業 | ライフデザイ ン事業 | K Village 事業 | ウエディング &フォト事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 一時点で移転さ れるサービス | 486,997 | 763,651 | 217,183 | 68,142 | 249,324 | 172,665 | 1,957,964 | — | 1,957,964 |
| 一定の期間にわ たり移転される サービス | 425,831 | 1,541,440 | 154,180 | 47,876 | 543,449 | — | 2,712,778 | — | 2,712,778 |
| 顧客との契約 から生じる取引 | 912,828 | 2,305,091 | 371,363 | 116,019 | 792,774 | 172,665 | 4,670,743 | — | 4,670,743 |
| その他の収益 | — | — | — | 144,781 | — | — | 144,781 | — | 144,781 |
| 外部顧客への 売上高 | 912,828 | 2,305,091 | 371,363 | 260,801 | 792,774 | 172,665 | 4,815,524 | — | 4,815,524 |
| セグメント間の 内部売上高 又は振替高 | 39,841 | 15,033 | 28,280 | — | — | — | 83,154 | △83,154 | — |
| 計 | 952,670 | 2,320,125 | 399,643 | 260,801 | 792,774 | 172,665 | 4,898,679 | △83,154 | 4,815,524 |
| セグメント利益 | 588,097 | 501,931 | 70,630 | 120,265 | 109,934 | 42,054 | 1,432,913 | △426,054 | 1,006,858 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|--------------------|-----------|-----------|-------------|---------------|-----------------|------------------|-----------|----------|-----------------------|
| | 加盟店事業 | 直営店事業 | マッチング 事業 | ライフデザ イン事業 | K Village 事業 | ウエディング &フォト事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 一時点で移転されるサービス | 508,682 | 837,828 | 265,009 | 219,096 | 305,907 | 2,178,505 | 4,315,030 | — | 4,315,030 |
| 一定の期間にわたり移転されるサービス | 493,523 | 1,661,826 | 140,864 | 35,628 | 652,895 | — | 2,984,737 | — | 2,984,737 |
| 顧客との契約から生じる取引 | 1,002,206 | 2,499,655 | 405,874 | 254,724 | 958,803 | 2,178,505 | 7,299,768 | — | 7,299,768 |
| その他の収益 | — | — | — | 122,211 | — | — | 122,211 | — | 122,211 |
| 外部顧客への売上高 | 1,002,206 | 2,499,655 | 405,874 | 376,935 | 958,803 | 2,178,505 | 7,421,980 | — | 7,421,980 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 55,296 | 16,201 | 23,200 | 6,512 | — | 6,366 | 107,576 | △107,576 | — |
| 計 | 1,057,502 | 2,515,857 | 429,074 | 383,447 | 958,803 | 2,184,871 | 7,529,556 | △107,576 | 7,421,980 |
| セグメント利益 | 697,732 | 611,755 | 63,477 | 106,939 | 117,619 | 407,399 | 2,004,922 | △424,861 | 1,580,060 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引及び「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、当第1四半期連結会計期間より、株式会社デコルテ・ホールディングスの連結子会社化に伴い、これまで「ライフデザイン事業」に含めていたフォト事業の重要性が増したことから、セグメント区分を見直しております。これにより、従来の「ライフデザイン事業」からウエディング事業及びフォト事業を分離し、新たに「ウエディング&フォト事業」を報告セグメントとして追加しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区別により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。